

甲賀市の

財政状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和元年度決算に基づく甲賀市の健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

全項目で健全化基準をクリア

健全化判断比率および資金不足比率が一定の基準値を超えた場合、改善が必要な状態とみなされ、財政健全化計画を策定することなどが義務付けられます。

算定の結果、交付税措置の手厚い事業を厳選し市債発行していることに加え、一部事務組合や公営企業会計での起債償還が進んだことにより、実質公債費比率は1.1ポイン

ト改善しましたが、将来負担比率は一般会計に係る地方債現在高の増加により、6ポイント増加しました。

自主的な改善努力が求められる早期健全化基準とは大きく差があり、依然として健全な状態を保っておりますが、今後も限られた財源を効果的に活用するとともに、一層の財政の健全化に向けた取り組みを進めていきます。

健全化判断比率

指標	令和元年度	平成30年度	早期健全化基準 [イエローカード]	財政再生基準 [レッドカード]
実質赤字比率 (一般会計などの赤字の割合)	赤字なし 健全	赤字なし	12.1%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字の割合)	赤字なし 健全	赤字なし	17.1%	30%
実質公債費比率 (1年間の収入に対して返済する借金が占める割合)	8.0% 健全	9.1%	25%	35%
将来負担比率 (財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合)	65.6% 健全	59.6%	350%	-

資金不足比率

指標	令和元年度	平成30年度	早期健全化基準[イエローカード]
資金不足比率(公営企業の資金不足割合)	資金不足なし 健全	資金不足なし	20%

問合せ 財政課 財政係 ☎69-2124 FAX63-4561

令和元年度甲賀市一般会計および各特別会計決算、基金の運用状況、公営企業会計決算、財政健全化および経営健全化判断比率について、審査に付された各会計の決算書および付属書類等を審査したところ、いずれも関係法令に適合して作成されており、かつ計数も正確で、適正に執行されているものと認めました。

一般会計・特別会計は黒字を維持し、公営企業会計については病院事業会計に純損失があるものの、その他の会計では純利益を計上しています。財政健全化判断比率および各企業会計の資金不足比率も良好な状態にあると認められます。



決算審査報告
 監査委員 山本 哲雄
 山岡 光広

令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う地域経済へのダメージは大きく、影響の見通しを立てることが難しい状況にありますが、財源を最大限確保しながら、社会や経済の変化に対応する新たな発想で住民の命や暮らしを守る取り組みに迅速に対応するとともに、市財政が抱える諸課題を踏まえた中長期的な視点での行政運営の推進に努められるよう望むものであります。

延期にはなったものの、本市では、今後東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン、第72回全国植樹祭開催と本市の魅力在全国、世界に発信できる機会に恵まれています。この機会を千載一遇のチャンスと捉え、地域経済全体への波及効果を生み出す取り組みをはじめ、国内外の社会経済環境や時代の潮流を見誤ることなく、組織の現状分析・改善を持続的に展開しながら、市民福祉の充実、向上を最優先に、いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまちとして、市民の皆様とともに輝く未来を実現されることを期待するものであります。

※8月17日付
市長へ決算審査報告

問合せ 監査委員事務局 ☎69-2261 FAX63-4577

令和元年度の

主な事業

ここでは、令和元年度に実施した事業の成果の一部を紹介します。

ふるさと納税推進事業 7,332万円



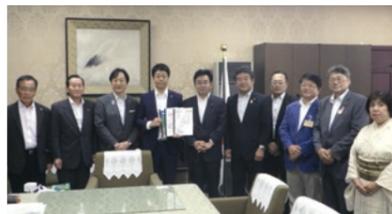
市内多数の事業者にご協力いただき、地場産品や観光体験プランなど約400種類の返礼品を取り揃え、令和元年度は全国の皆様から5,097件、1億5,018万4千円のご寄付をいただきました。

ロケーション推進事業 4,215万円



NHK連続テレビ小説「スカーレット」および関連番組のロケ支援や28の関係団体で組織する「スカーレット」で甲賀を盛り上げる推進協議会により、観光客の受入体制整備や地域活性化事業に取り組みました。

名神名阪連絡道路整備推進事業



40万円

名神名阪連絡道路の実現に向けた事業展開を図るため、同盟会による勉強会の開催および周辺地域との連携による関係機関への要望を実施しました。

ホストタウン事業 206万円



東京パラリンピックにおけるシンガポール選手団の事前合宿候補地の現地視察や協議調整を行うとともに、シンガポールポッチャスリートによる障がい者福祉施設や小学校などでの文化・スポーツ交流、障がい者スポーツの普及を図ることもあわせて、市民ポッチャ交流大会を開催しました。

水口地域保育園施設整備事業



9億962万円

子どもたちにより良い保育・教育環境を提供するため、あいまらい保育園を新築し、令和2年4月に開園しました。

全国植樹祭整備事業 909万円



2022年春に本市「鹿深夢の森」で開催される「第72回全国植樹祭」に向けて、関係団体等の参画による推進協議会を設立し、「苗木のホームステイ」を実施するなど、森林や緑化への関わりによる気運の醸成を図りました。

(仮称)西部学校給食センター建設事業



24億4,260万円

老朽化した水口・信楽学校給食センターを統合し、水口・信楽地域の保育園、幼稚園、小・中学校により安全で安心な給食を提供するため衛生管理を徹底した設備を備え、新たに食物アレルギー対応のための専用の調理室を配置した学校給食センターを建設しました。

水口体育館整備事業



13億5,563万円

老朽化した水口体育館を旧甲賀病院跡地に新築し、地域やスポーツ関係団体をはじめ、世代や障がいの有無を超え、多くの市民の方が利用できる本市の新たなスポーツ、健康推進の拠点として整備しました。

令和元年度に実施した主な事業の詳細については、市ホームページ「甲賀市の決算」に掲載しています。